ジョン・ケリー国務長官、アシュ

5年4月に皇太子ムクリン・アブ

ド・ビン・サルマン(MbS)の 攻善に貢献したのだろうか。 訪米は、両国の冷え切った関係の れでは、6月の副皇太子ムハンマ かにある。中東における米国最大 ウジアラビアとの関係がどうなる 保障の問題をめぐって、米国とサ マ政権に不信感を抱いてきた。そ の関係を正常化しようとするオバ の同盟国サウジは、宿敵イランと きな一要因は、エネルギーと安全 21世紀世界史の進路を決する大

の失敗はサウジの混沌と崩壊につ すると見極めたからである。 ながり、<br />
代わりに<br />
「イスラム国 心はサウジの将来にあり、MbS 乗り換えたというのだ。米国の関 文持していたMbNからMbSに えたという解釈もある。米政権は いてMbSの王位継承に黙諾を与 ン・ナーイフ(MbN)を差し置 厚く扱い、皇太子ムハンマド・ビ (IS) 」かアルカーイダが台頭 確かにMbSは、大統領以外に 米政府はMbSの訪米に際し 現国王でもあるかのように手 の反応はどうか。第3に、201

## 米国は副皇太子に乗り換えた?

だろうか。第2に、MbNや王室 黙許したとすれば、3つの問題が Sの国王即位にいたるシナリオを 任、つまりMbNの廃嫡からMb かうシナリオが実地に移されるの さらに興味をそそるだろう。 とみていた。 導者シャイフ・ニムル・アル・ニ との関係を悪化させたシーア派指 もの石油を放出した決定、イラン ムルの処刑などから、危うい王子

係者やビジネス・リーダーらとも トン・カーター国防長官、諜報関 東の進路決するサウジの変

## bSについて、イエメン戦争への シュは、米国の狙いが国王にやが 会っている。この稀有な会談ラッ 過剰関与、世界市場に200万㎡ だ。どちらかといえば米国は、M を子細に検討する点にあったから てなるべき副皇太子の能力や性格

テレビ特任顧問

ドゥッラー系として忌避され廃嫡 ドゥル・アズィーズが前国王アブ されたときのように、MbNは廃 太子に甘んじるのだろうか。

「ビジョン2030」の狙い

アメリカがMbSの皇太子就

発表されたのが「サウジアラビア ず、米国を説得できないのは当然 である。この新構想として16年に ないとサウジの人心を掌握でき 家の未来に関わる新たな設計図が 逐できるとは考えないだろう。国 ビジョン2030」なのだ。 MbSは、力ずくでMbNを駆

第1に、いつ廃嫡から即位に向

5%未満を売却すると言明したの ると豪語したのである。 %を押さえる国家ファンドをつく は、世界を驚かせるに十分であっ たことだ。30年にはサウジの「ド の国家ファンドを設立し、金融競 政再建と内政改革のために2兆が た。MbSは、世界の投資力の10 ル箱」ともいえるアラムコの株式 争力をつける構想を大胆に開示し また、サウジは世界3番目の武 そこで目立つのは、MbSが財

## 無血革命」の保証はない

が同盟を組んできたワッハーブ派 しかし、歴史的にサウード王室

は国家予算の2%にすぎないため 器購入国でありながら、国内調達

> 生産 (GDP) を19位から15位2 6%から7%まで下げ、年率4% 引き上げるのが基本目標である。 でこの25年間に成長してきた経済 意を示した。 さらに失業率を11 規模を世界20位まで高め、国内総 に、兵器産業の国産化を進める決

> > 異質な厳しい試練にならざるをえ である。MbNとの権力闘争とも の宗教指導者を説得するのは難事

ない。MbSの国家改造はムクリ

るワッハーブ派による厳しい女件 するが、MbSは体制を正統化す %から30%まで高めるという約束 隔離と差別の歴史と伝統とたやす 能を発揮する場所が必要だと公言 大学卒の50%以上が女性である以 の女性が国の大きな財産であり であろう。ビジョンでは、サウジ は、女性の労働参加率を現在の22 上、彼女たちの高度なスキルやオ /決別できるであろうか。 ことに米国にとって重要なの

対して、王族の保守的不満分子が

国体」にメスを入れるMbSに

最悪のシナリオは、サウジの

趾はどこにもない。

ン・スルターン王子を追放した

無血革命」でめでたく終わる保

国家安全保障顧問のバンダル・ビ

-前国王の息子トゥルキー王子や ・皇太子を廃嫡し、アブドゥッラ

宗教指導者と合同反対派ブロック 世紀以来の同盟者ワッハーブ派の MbNの周辺に結集しながら、18

を秘めているのだろう。

らだ。サウジを見つめる米国の視 価を大きく左右する要因になるか 線は、誰が大統領になっても過去 な次元で安全保障とエネルギー油 あるいはそれ以上に、グローバル ジの未来はISの動向と並んで、 か否かに関心を抱いている。サウ 国家として自己変革を遂げられる を組むことである。 米国はサウジが中東の安定した

すべきかもしれない。 のように甘くないことだけは覚悟 (やまうち まさゆき)

の内政改革だけでなく、失われた 経済の活性化につながるという見 米国との信頼関係を修正する狙い 万は正しい。 ビジョンは、 サウジ 女性の未来の強化は社会発展や

山内

2016. 7. 29